



# 週間情報



No.0129

発行日 令和元年8月6日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 救急講演会を開催

#### 衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、令和元年7月19日（金）、刈谷市総合文化センターにおいて、日本医科大学付属病院高度救命救急センター教授の布施明医師をお招きして、「事態対処医療の実践」と題し、衣浦東部広域連合消防局救急講演会を開催しました。

当日は、当消防局だけでなく、警察機関及び他消防本部等から205名が参加しました。

ラグビーワールドカップ2019™に備え、ターケット取り扱いを含む、事態対処医療の実践について考える大変貴重な機会となりました。



【講演会の様子】

### 訓練・演習

#### ◆ 外国人災害時対応コミュニケーション訓練を実施

#### 三沢市消防本部（青森）

三沢市消防本部では、令和元年7月19日（金）、米軍基地関係者を講師にお招きし、外国人災害時対応コミュニケーション訓練を実施しました。

指導救命士の運営管理により、救急現場を疑似想定し、救急ボイストラ及びコミュニケーションボード等を使用しての4症例を、ブラインド型訓練で実施しました。外国人への接遇、外国人傷病者への観察及び処置のインフォームドコンセントを重点項目とし、各署所から参加した救急隊及び消防隊が日頃活用しているコミュニケーションツールの使用を確認し、外国人講師からアドバイスをいただきました。

今後は、多言語対応などの訓練も取り入れ、職員全体のコミュニケーション能力の更なる向上を目指してまいります。



【訓練の様子】



【外国人講師による検証等の様子】

## ◆ 水難事故対応訓練及び無人航空機(ドローン)による上空撮影訓練を実施

柏市消防局(千葉)

柏市消防局では、令和元年7月19日(金)、手賀沼にて水難事故が発生したとの想定のもと、各隊初動体制の確立及び当市初導入となるドローンの俯瞰映像を活用した水難事故対応訓練を実施しました。

ドローンのカメラ映像から得られた情報を活動隊に情報提供することで、迅速な救助活動を実施することができました。

また、赤外線カメラ映像及び俯瞰映像を、指令センター及び仮災害対策本部モニターへ電送することにより、いち早く各関係機関との情報共有を図ることができました。

今後も、日々訓練を重ね、より迅速で確実な人命救助体制の確立に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 鉄道事故対応合同訓練を実施

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部(茨城)

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、令和元年7月23日(火)、ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅において、ひたちなか海浜鉄道株式会社、ひたちなか警察署及び当消防本部の3者合同による鉄道事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、毎年度実施しており、4回目となる今回の訓練では、事故発生時に長時間遮断される踏切が、緊急車両の通行等を阻害する場合の措置に関して、3者間で協定を締結することに伴い、踏切遮断機の開放方法や列車内に閉じ込められた乗客の救出方法、手順等について連携を確認しました。



【踏切遮断機開放訓練の様子】



【救出訓練の様子】

## ◆ 「U I T E M A T E」を常識に

### 天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和元年7月25日（木）及び7月26日（金）の2日間、同消防本部南消防署において、少年消防クラブ員に、着衣泳法訓練を実施しました。

この訓練は、夏休みに入り、海や川での事故が増加するこの時期に、遊泳時の注意事項と、もしもの場合の対処法を学んでもらうことを目的として実施したものです。

近年、海外でも注目されつつある「U I T E M A T E」の合言葉のもと、水面において助けを待つことの重要性を認識させ、背浮きを習得できるよう指導を行いました。

最後に、「U I T E M A T E」の合言葉を家族、友人などに広めるよう伝えました。新たな地域防災の担い手である少年消防クラブ員の今後の活躍が期待されます。



【着衣泳法訓練の様子】

## ◆ 急流救助訓練を実施

### さつま町消防本部（鹿児島）

さつま町消防本部では、令和元年7月30日（火）及び31日（水）の2日間、水の事故に備え、消防署付近の河川において、地元消防団と合同による急流救助訓練を実施しました。

今回の訓練では、急流河川で人が流されたとの想定で、スローバッグによる救助や急流域での基本姿勢などの訓練を実施しました。

さつま町は、緑豊かな山や河川など多くの自然に囲まれ、古くから水辺に親しむ地域が数多くあります。訓練に参加した隊員・団員は、水難救助活動の特性や装備、資器材の取り扱い要領など、現場対応力の向上を図ることができました。

今後も、住民の安全・安心を守るため、様々な災害に対応できるよう訓練を積み重ねてまいります。



【訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 不祥事予防対策・ハラスメント対策研修会を開催

#### 越谷市消防本部（埼玉）

越谷市消防本部では、令和元年7月19日（金）、不祥事予防対策・ハラスメント対策研修会を開催しました。

今回の研修は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師に招き、不祥事等を発生させない意識を組織全体で共有することを目的とし、不祥事・ハラスメントが職員や組織に与える影響等を講義いただきました。130名の職員が参加し、近年増加する消防職員の不祥事や各種ハラスメントの現状や発生原因等を学び、参加者全員が不祥事予防対策・ハラスメント対策について深く学ぶことができました。

当消防本部において、今後さらに不祥事予防対策及びハラスメント対策の推進を図り、職員一人一人の意識づけ、そして職員の働きやすい環境づくりに尽力してまいります。



【研修の様子】

### ◆ 「CBRNE特殊災害」職場内講習会を開催

#### 埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、令和元年7月22日（月）、ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など各種国際イベントの開催を控え、事態対処能力の向上を図ることを目的として、「CBRNE特殊災害について」と題し、職場内講習会を開催しました。

当日は、防衛医科大学校病院救急部、清住哲郎医学博士を講師に招き、医学的見地からCBRNEテロを含む特殊災害の最新情報、特殊災害の特徴及び事態対処医療について、指導をいただきました。

当講習会の実施により、CBRNE特殊災害の脅威を知るとともに、緊急事態発生に際して、消防が行うべき役割、消防活動上の留意事項等を学ぶことができ、有意義な講習会となりました。



【講習会の様子】

◆ 身体障害者補助犬（盲導犬）研修会を開催～盲導犬は救急隊員のミカタかも～

明石市消防局（兵庫）

明石市消防局では、令和元年7月22日（月）、社会福祉法人兵庫盲導犬協会の協力により、救急隊員のための「身体障害者補助犬（盲導犬）研修会」を開催しました。



【研修会の様子】

2名の盲導犬ユーザーから、盲導犬への接し方研修を受けた後、様々な救急現場を想定したシミュレーションを行いました。この際、盲導犬は、常にユーザーに寄り添っていますが、救急隊員の指示にも素直に従ってくれました。

盲導犬に関する知識を深め、ユーザーの方と意見交換することで救急隊員の不安を解消できました。

◆ 予防実務研修（危険物・火災原因調査）を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、令和元年7月23日（火）及び24日（水）の2日間、予防業務経験の浅い職員を対象とした予防実務研修を実施しました。

「危険物研修」では、危険物業務の概要に始まり、危険物規制の根幹ともいえる許認可の実務の流れを研修しました。

「火災原因調査研修」では、前半に電気火災において使用するテスターについての座学を行い、後半は車庫棟内にて実際にテスターを使用して、家電製品等の通電立証や使用立証の調査方法を学びました。

当消防本部では毎年数回、予防実務研修を実施しており、次回は「消防用設備」「査察指導」の2テーマについて研修を実施します。



【危険物研修の様子】



【火災原因調査研修の様子】

## ◆ 違反処理実務研修会を開催

### 備北地区消防組合消防本部（広島）

備北地区消防組合消防本部では、令和元年7月26日（金）、「違反是正の実務」と題して職員研修会を開催しました。

この研修会は、一般財団法人日本消防設備安全センターから講師を招き、違反処理に関する知識の習得及び違反処理業務に対する能力の向上を図ることを目的とし、職員60人が参加したものです。



【研修の様子】

違反処理の実務経験が浅い職員が多く聴講しましたが、負担にならない違反処理の進め方や関係者との交渉術の重要性について、学ばせていただく内容が数多くありました。

違反処理は、従来から難しいものという先入観や固定観念がありますが、講師の情熱あふれる講義は、更に積極的な業務遂行への動機づけとなりました。

この研修会で得た知識を生かし、違反対象物の早期是正に向けて実務に取り組んでまいります。

## ◆ 新任隊長を対象とした幹部教育研修を実施

### 中城北中城消防本部（沖縄）

中城北中城消防署では、令和元年7月27日（土）、新任隊長を対象とした幹部教育研修を実施しました。



【研修の様子】

当研修は、消防署・警防課による「消防実務・部隊運用・現場指揮」、予防課・総務課からは「消防隊が使用する消防設備・消防財政」など多様な内容で行われました。

また、「リーダーとしての弱点を考える」と題した署長講話では、視点を変えて物事を克服していく面白さなどが伝えられ有意義な研修となりました。

## その他

### ◆ 安全確保のためのAEDを寄贈

#### 宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和元年7月22日（月）、宗教法人清荒神清澄寺からAED1器が寄贈され、宝塚市消防長石橋豊から感謝状を手渡しました。

清荒神清澄寺からは、平成20年にもAED（1器）を寄贈していただいております、今回が2度目となります。寄贈いただいたAEDは、これまで消防機関が実施するイベントのみならず、市民等の積極的な活用促進を図るため、市内各種団体が計画、実施するイベント等への貸し出しを行ってきました。

寄贈式で、清荒神清澄寺宗務長の國定道晃様からは「救急件数が増加する状況の中で、救急救命に役立っていただけるようAEDを寄贈いたします。救急業務や消防業務については大変過酷な仕事ですが、市民の生活を守るため、今後も尽力いただきたい。」とのお言葉をいただきました。



【寄贈式の様子】

### ◆ 第7回泉州南危険物安全推進大会を開催

～管内事業所が一致団結し、危険物災害の撲滅を図る～

#### 泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和元年7月26日（金）、管内の3協会（泉佐野市火災予防協会、泉南市防火防災協会、阪南岬火災予防協会）と協力し、危険物施設の保安の確保を図るため「第7回危険物安全推進大会」を開催しました。

当大会では、当消防本部の管理者、消防長及び各協会長から優良危険物関係事業所への表彰が行われました。

また、コスモ石油株式会社堺製油所の菊田幹夫氏による「不具合事例と保安管理活動」の講演には、管内33事業所75人が参加しました。

当消防本部及び各協会では、今後も、危険物に係る事故防止対策の推進を図るため、様々な取り組みを行っていきます。



【全体集合写真】



【推進大会の様子】

## ◆ 火災を発見したお手柄小学生に署長感謝状を贈呈

### 東京消防庁（東京）

東京消防庁小金井消防署では、令和元年7月30日（火）、東京学芸大学附属小金井小学校4年の小学生に、消防署長感謝状を贈呈しました。



【贈呈式の様子】

小学生は、令和元年7月24日（水）、10時50分頃に発生した建物火災において、近くを通りかかり、住宅用火災警報器の警報音に気づくとともに、焦げ臭い臭気を感じ、近くの交番へ駆け込んで119番通報を依頼しました。この迅速な判断と行動により、火災は早期に鎮圧されました。

贈呈式では、笑顔で「火事を見たのは初めてでしたが、危険を感じたので交番に伝えに行きました。改めて火事は怖いと感じました。」と話していました。

## ◆ ガソリンスタンドにおけるガソリンの詰め替え販売に係る協力を依頼

### 大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、令和元年7月18日（木）に、京都市伏見区において発生した「京都アニメーション」の火災を受けて、令和元年7月30日（火）及び7月31日（水）の2日間、類似火災の抑止を目的に、市内全てのガソリンスタンドに職員が訪問して、ガソリンの詰め替え販売に係る消防法令の遵守を徹底しました。



【ガソリンスタンドでの協力依頼の様子】

また、購入者に対する身分証の確認や、使用目的の問いかけ、販売記録の作成を行うよう啓発チラシ及び記録用紙を配付し協力を求めました。

一部の施設には警察署員も同行し、不審者発見時の通報等の対応について依頼されました。



## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 非常用電源等の法令点検未実施の病院に対する適切な対応について

(事務連絡、令和元年7月31日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今般、別添のとおり厚生労働省医政局地域医療計画課長から各都道府県衛生主管部局長に対して「非常用電源等の法令点検未実施の病院への適切な対応に係る周知依頼について」（令和元年7月31日付け医政地発 0731 第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）が発出されたのでお知らせします。（別添省略）

同通知は、「病院の非常用電源の確保及び点検状況の調査について(依頼)」（平成30年8月6日付け医政地発 0806 第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）等に基づく調査により、関係法令（電気事業法、消防法及び建築基準法）の規定に基づく非常用電源等の点検等（以下「法定点検」という。）を実施していない病院があることが判明したことから、各都道府県衛生主管部局長に対し、関係法令主管部局と連携しつつ、法定点検を実施していない病院において、法定点検が確実に実施されるよう適切な対応を行うこと等を求める内容となっています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190731\\_yobou\\_jimul.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190731_yobou_jimul.pdf)) に掲載されています。

|   |
|---|
| 消防庁予防課設備係<br>担当：田中、中野<br>TEL：03-5253-7523<br>FAX：03-5253-7533 |
|---|

#### ◆ 平成30年中の都市ガス、液化石油ガス及び毒劇物等による事故状況について

(消防危第89号、令和元年8月1日)

消防庁危険物保安室から関係省庁、関係業界団体あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

都市ガス、液化石油ガス及び毒劇物等による事故（以下「ガス事故等」という。）防止対策につきましては、平素より御尽力を賜り感謝申し上げます。

この度、平成30年中において消防機関が出場したガス事故等の状況を、別添のとおり取りまとめましたので送付いたします。（別添省略）

当庁といたしましても、関係機関との連携を強化し、ガス事故等の防止の推進に努めているところではございますが、貴機関におかれましても本調査結果によるガス事故等の状況を参考に、今後とも防災対策の推進について格段の御配慮をお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190801\\_kiho\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190801_kiho_1.pdf)) に掲載されています。

|   |
|---|
| (連絡先) 消防庁 危険物保安室<br>竹本、小島、大西<br>電話 03-5253-7524(直通)<br>FAX 03-5253-7534 |
|---|

◆ **食品工場及び業務用厨房施設等における一酸化炭素中毒事故の防止について**

(事務連絡、令和元年8月2日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、経済産業省産業保安グループから別添「食品工場及び業務用厨房施設等における一酸化炭素中毒事故の防止について(要請)」により要請がありました。(別添省略)

つきましては、機会を捉え食品工場や業務用厨房施設が存する事業所に対し別添の要請文書を参考に、ガス消費設備使用中の換気、点検等の一酸化炭素中毒事故防止について注意喚起を行うようご配慮願います。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む)に対し、この旨周知していただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190802\\_yobou\\_jimul.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190802_yobou_jimul.pdf)) に掲載されています。

|   |
|---|
| 消防庁予防課予防係<br>担当：吉田、上村<br>TEL：03-5253-7523<br>FAX：03-5253-7533 |
|---|

**報道発表**

◆ 「令和元年度 救急業務のあり方に関する検討会」の発足及び開催

(令和元年7月29日、消防庁)

平成30年中の救急自動車による救急出動件数は約660万件(速報値)と過去最多となり、高齢化の進展等に伴う救急需要の増加への対応や救急業務の質の向上が求められています。

今年度は、救急業務の円滑な実施や救急車の適正利用を推進するため、「外国人傷病者対応」、「メディカルコントロール体制のあり方」、「救急安心センター事業(＃7119)の事業検証体制」及び「緊急度判定の実施・検証」について検討します。さらに、「救急業務のフォローアップ」及び「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施」について報告を行うこととしています。

第1回の会合について、以下のとおり開催しますのでお知らせいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190729\\_kyuuki\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190729_kyuuki_01.pdf)) に掲載されています。

|   |
|---|
| 【連絡先】消防庁救急企画室<br>担当：三島補佐、海馬沢係長、堤係長、名達事務官<br>TEL：03-5253-7529(直通) FAX：03-5253-7532 |
|---|

## ◆ 「先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会」の開催

(令和元年8月1日、消防庁)

石油コンビナート等における総合的な防災体制の充実強化を目的に、「先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

### 1 概要

南海トラフ地震や首都直下地震発生の懸念や、施設の高経年化等により事故が増加している状況を踏まえ、石油コンビナート等における総合的な防災体制の充実強化が求められています。

昨今、IoTやAI等の先進技術の発展はめざましく、産業保安分野においてもこれらを活用した様々な取組みが進められています。また、石油コンビナート防災体制のさらなる強化やヒューマンエラー対策・ベテランの技術伝承等の推進などが求められていることから、石油コンビナート災害対応支援を図ることを目的として、これら先進技術の導入及び活用方策について調査・検討を行うものです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/28db9571b5f65f7ac2061102ce1af4c5ec927b74.pdf>) に掲載されています。

|       |              |
|-------|--------------|
| (連絡先) | 消防庁特殊災害室     |
| 担 当   | 吉岡、喜多村、千村    |
| 電 話   | 03-5253-7528 |
| FAX   | 03-5253-7538 |

## 情報提供

### ◆ カシオG-SHOCK等の斡旋について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者であるカシオマーケティングアドバンス株式会社では、当協会会員（消防職員）向けに、特別価格にて腕時計の販売を行っています。

この度、ご好評につき、スマートアウトドアウォッチの特別販売期間を令和元年8月31日（土）まで延長することになりました。購入方法等につきましては、令和元年8月7日（水）に各本部宛にメールにてご案内いたします。

退職消防職員の方もご利用可能ですので、ぜひ多くの皆様にご周知いただきますようお願いいたします。



#### 【問い合わせ先】

業務課

担当：<sup>かわの</sup>河野、石井健一

電話：03-3234-1321

◆ 令和元年秋の火災予防運動用ポスター等の斡旋について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年、春と秋の火災予防運動の時期に合わせて、全国の消防本部（局）あてに火災予防運動用ポスター等の斡旋を行っております。この度令和元年秋の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等を斡旋することとなりましたのでお知らせします。

貴消防本部（局）の火災予防運動に是非ご活用ください。

記

- 1 令和元年度全国統一防火標語  
『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』

- 2 斡旋するポスター等  
以下の6種で、いずれもモデルは「岡本 莉音（おかもと りおん）」さんです。

| 種 別 | ポスター |      | 立看板用ポスター | 防火チラシ |
|-----|------|------|----------|-------|
|     | B 2判 | B 3判 |          |       |
| 記 号 | N-1  | N-2  | N-3      | N-4   |
|     | S-1  | S-2  |          |       |



- 3 申込方法  
所定の申込書により、FAX または郵送で直接業者にお申し込みください。

- 4 申込先  
有限会社仲田春光堂  
〒340 - 0004 埼玉県草加市弁天4丁目23番14号  
TEL 048-932-4085 FAX 048-932-4086

- 5 申込締切日

| 申込締切日            | 火災予防運動期間     |
|------------------|--------------|
| 令和元年8月30日（金）業者必着 | 11月9日～11月15日 |

## 6 納期

| 納品日            | 納品方法     |
|----------------|----------|
| 令和元年10月7日（月）まで | 業者より直接納品 |

※火災予防運動を11月9日以前に実施する消防本部に限り、納品予定日の変更に応じます。  
その場合の納期は令和元年9月27日（金）までを予定しています。

## 7 その他

詳細につきましては、令和元年7月31日付全消協第102号にて各消防本部（局）あてに、ポスター等の各見本とともに、案内文書を送付しておりますのでご確認ください。

また、当協会のホームページにも本件の詳細を掲載しておりますのでご覧ください。

【<https://www.ffaj-shobo.or.jp/shirtsale/buy.html>】

### 【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ① トップ・セカンド記事

### ② 知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③ 女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）を参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、[kikachosei@fcaj.gr.jp](mailto:kikachosei@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ③ 消防ワイド

※150文字程度（160文字以内）の原稿Wordデータ及び画像データはWord等に貼り付けずに、JPEGデータのまま送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、[joho-sys@fcaj.gr.jp](mailto:joho-sys@fcaj.gr.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)

### 記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 清田